

無断転写禁止

E L I C ビジネス & 公務員 専門学校

自己評価報告書

令和 6 年度

(令和 5 年度評価)

記載責任者 森 登志男

記載者 木村 公一

# 目 次

I	学校評価の意義	1
II	学校評価の流れ	1
III	学校評価者	1
IV	学校の教育目標	3
V	本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画	3
VI	評価項目の達成及び取組状況	6
	( 1 ) 教育理念・目的・人材育成像	6
	( 2 ) 学校運営	7
	( 3 ) 教育活動	8
	( 4 ) 学修成果	10
	( 5 ) 学生支援	11
	( 6 ) 教育環境	13
	( 7 ) 学生の受入れ募集	13
	( 8 ) 財務	14
	( 9 ) 法令等の遵守	14
	(10) 社会貢献・地域貢献	15
	(11) 国際交流	15

# I 学校評価の意義

ELIC ビジネス&公務員専門学校では、文部科学省の「学校評価ガイドライン」に沿って、実行及び検証を行うことで自己評価報告書を作成し、この学校評価を適正な学校運営と教育改革に取り組む一助とする。

# II 学校評価の流れ

①学園の中長期計画を達成するため、事業計画を作成する。②各教職員が事業計画に基づいて業務を遂行する。③各教職員が現状の問題点を洗い出し総合的に評価する。④自己評価担当が評価内容を分析し自己評価報告書（案）を作成する。⑤自己評価委員会を開催し、提起された課題点に対しての改善方針を定め、自己評価報告書を完成させる。⑥自己評価報告書の内容を学校関係者評価委員会にて検証する。⑦学校評価報告書を作成し、学園本部に提出する。⑧学校評価報告書の必要項目をホームページにて情報公開する。

# III 学校評価者

## ①自己評価

ELIC ビジネス&公務員専門学校のすべての教職員が「自己評価者」となり、自己評価を実施する。自己評価担当者が内容をまとめ、自己評価報告書を作成する。

### 【自己評価者】

校 長	森 登志男	教 諭	水本 貴久
事 務 長	高田 典明	教 諭	長谷川 靖洋
学年主任	木村 公一	教 諭	西 託民
学年主任	加藤 佳明	教 諭	瀬木 翼
渉外主任	徳永 好宣	教 諭	水谷 奈月
		教 諭	平田 真理恵

以上 11 名

### 【令和 4 年度自己評価担当者】

自己評価担当者は、次の本校教職員で構成される。

学年主任	木村 公一	
教 諭	水谷 奈月	
事務職員	伊藤 亜希子	以上 3 名

## ②自己評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校自己評価委員会は、次の本校教職員で構成される。

校 長	森 登志男	
事 務 長	高田 典明	
教務部長	木村 公一	
学年主任	加藤 佳明	
渉外主任	徳永 好宣	以上 5 名

## ③学校関係者評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校に関係している多様なステークホルダーであり、多角的方面より評価をいただく。構成する関係者は次のとおりである。

在学生保護者	2 名
本校卒業生	2 名
学生就職先	1 名
地域関係者	1 名

以上 6 名

## IV 学校の教育目標

第二次中長期計画で目標とした「持続的に自立可能な組織」への道程を総括しつつ、それを踏まえ第三次中期計画への準備を加速します。

## V 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

建学の精神、ASU ビジョン 2027 及び第三次中期計画、KPI に基づき、次の3つの実現を目指し施策を進める。

- ① 安定した財政基盤のもと、小さくても結果を出す学校
- ② 学生が成長実感と満足が得られる専門学校を目指す
- ③ ニーズを的確に捉えた進化した教育方法、力強い体制の構築

### 1. DX 推進による教育の重点分野、教育手法等の点検・改善と組織内情報管理システムの整備

- (1) 昨年度から設置している「ICT に関するプロジェクト」を「DX 推進プロジェクト」とし、学園の委員会等と連携・情報共有しながら、さらに実効性のある具体的な方策を推進する。プロジェクトには随時、校長、教務部長も参加する。
- (2) 教職員はもとより学生にも IT リテラシー、スキルの向上を図る。
- (3) プロジェクトにおいて、DX 推進による教育的効果、事務の合理化を具体的に検討し、目的達成までの工程表を作成する。

### 2. リカレント教育を踏まえた通信教育の拡充・強化等

- (1) 高校の通信制・単位制との連携を強化する。昨年度から実施している工業高校単位制の生徒への公務員合格講座、情報関連資格取得講座を継続するとともに、三河高校単位制の生徒への講座もオンラインを活用してスタートする。
- (2) 短大通信教育部との連携を強化し、より大学3年次への編入学ができるように体制作りをする。

### 3. 将来展望を踏まえ、安心・安全に配慮した校舎・設備等の改修と事業継続計画（BCP）の見直し

- (1) 平成 29（2017）年度に作成した「施設の保守、改修等の中長期計画」を検証するとともに、安心・安全に配慮した新たな中期計画を早急に策定する。
- (2) 事業継続計画（BCP）を念頭に、「危機管理マニュアル」特に地震対策、集中豪雨対応につき、必要な見直しを行う。

#### 4. 働き方改革の流れを踏まえた魅力的な労働環境づくりとコンプライアンス体制の一層の強化

- (1) 時代の変化、学生の目的に沿った教育スケジュール、教職員個々の希望などを踏まえた働き方改革を行い、魅力的な労働環境づくりを推進する。
- (2) 教務部長、事務長を中心に、コンプライアンスの徹底。法令遵守だけでなく組織倫理や社会規範に従い、公正、公平に職務を遂行する。

#### 5. 第三次中期計画に基づく数値目標

- (1) 令和6年度基本金組入前当年度収支差額（暫定）3000万円、入学者数150名を目標とする。
- (2) 愛知県内の高校からの入学生増に力点を置き、教職員全員が、募集・広報活動を積極的に行う。一般高校からの入学生60名を数値目標とする。特に高校生が求めること、ニーズを的確に把握し、入学相談、体験入学、印刷物の制作を行う。

#### 6. 透明かつ自律的な学校運営の確保とチェック機能の強化

- (1) 学校法人のガバナンスの強化に向けた私立学校法の改正の動向を見極め、学園寄付行為に沿った適切な対応をする。
- (2) 教員は教務部長中心に、事務局は事務長中心に、透明かつ自律的な学校運営を実現するとともに、チェック機能を強化する。

#### 7. 学生満足度の向上、教育実績の見える化、授業内容の充実

- (1) 分かる授業、身につく授業の構築。習熟度別クラス編成及びDXの推進。
- (2) 各科、コースの目標の明確化（入学時の学生数に対する卒業時の合格実数）
  - ITスキル科
    - 情報処理コース・・・基本情報技術者試験合格率 70%以上
    - 医療事務情報ビジネスコース・・・一人あたり資格取得数10以上 70%以上
    - マネジメントコース・・・N2合格率 70%以上
  - 公務員科／短期公務員科・・・公務員試験最終合格率 70%以上
- (3) 学生一人ひとりに寄り添った親身なコンサルティング型の教育を実践することにより、退学者数の減少を図り、また適材適所な進路指導を行う。

## VI 評価項目の達成及び取組状況

自己評価者の評価平均が 2.5 未満の項目を問題項目とし、現状分析・改善案を作成し、特に評価の低い 3 項目は重要改善項目と位置づける。

### (1) 教育理念・目標

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評 価 項 目	評 価
a. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	<b>3.64</b>
b. 学校における職業教育の特色は何か	<b>3.64</b>
c. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	<b>3.18</b>
d. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係 業界者・保護者等に周知がなされているか	<b>3.00</b>
e. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け て方向づけられているか	<b>3.09</b>

#### ■課題

特になし

## (2) 学校運営

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.64
b. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.64
c. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.36
d. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.45
e. 教務・財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか	3.36
f. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.09
g. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.27
h. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.36

### ■課題

#### **h) 重点① 昨年度 2.3**

- ・システムを簡素化できていない。(COBOL、Access、Excel 使用)
- ・DX 推進が不十分である。

### ■今後の改善方針

#### **h) 重点①**

- ・卒業証明書のシステム化を検討している。
- ・COBOL ベースのシステムをACCESS ベースに変更中。
- ・学園のDX 推進員会にて書類検印、物品調達、勤怠管理、出張報告・精算など電子化を検討中。

### (3) 教育活動

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.09
b. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.09
c. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.27
d. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.09
e. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.73
f. 関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2.27
g. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.36
h. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.27
i. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.73
j. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.45
k. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.00
l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.00
m. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.00

## ■課題

### f) 重点② 昨年度 2.6

- ・カリキュラムにてインターンシップの単位を認めていない。
- ・企業人の講義が少なく、連携しているとはいえない。

## ■今後の改善方針

### e) 重点②

- ・教育課程編成委員会にてインターンシップのカリキュラム化を検討しており、企業人の講義・学内インターンシップを検討中。
- ・T e c h f u lを活用することで、企業からのオファーも期待できる。  
(チャレンジ問題 3,000 問程度あり、本年度の目標 1,000 問)

#### (4) 学修成果

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 就職率の向上が図られているか	3.18
b. 資格取得率の向上が図られているか	3.18
c. 退学率の低減が図られているか	2.45
d. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.18
e. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.91

#### ■課題

##### c) 重点③ 昨年度 2.2

- ・退学者防止に対しての方策が少ない。
- ・退学者増加の原因を究明できていない。

#### ■今後の改善方針

##### c) 重点③

- ・出席状況が悪い学生に対して、上長との学生個別面談を実施予定。
- ・今後、動機付けに力を入れる必要がある。
- ・精神的に弱い学生が多く、登校できなくなるケースが増加している。
- ・担任を中心に、フォローアップできる体制を検討する。

## (5) 学生支援

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.27
b. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.09
c. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.27
d. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.73
e. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.91
f. 学生の生活環境への支援は行われているか	3.00
g. 保護者と適切に連携しているか	3.36
h. 卒業生への支援体制はあるか	2.82
i. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・就業教育の取組が行われているか	2.91

### ■課題

特になし

## (6) 教育環境

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.09
b. 防災に対する体制は整備されているか	3.27

### ■課題

特になし

## (7) 学生の受入れ募集

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.45
b. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.36
c. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.64
d. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.18

### ■課題

特になし

## (8) 財務

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.09
b. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.36
c. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.64
d. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.55

### ■課題

特になし

## (9) 法令等の遵守

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

評価項目	評価
a. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.55
b. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.27
c. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.36
d. 自己評価結果を公開しているか	3.73

### ■課題

特になし

## (10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	評 価
a. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	<b>3.64</b>

### ■課題

特になし

## (11) 国際交流

評 価 項 目	評 価
a. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	<b>3.18</b>
b. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	<b>3.45</b>
c. 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	<b>3.36</b>

### ■課題

特になし